

【プレスリリース】2014年 12月1日

<東京国立近代美術館工芸館>

## 中村ミナトのジュエリー：四角・球・線・面 NAKAMURA Minato's Jewelry: Square, Globe, Line, Plane

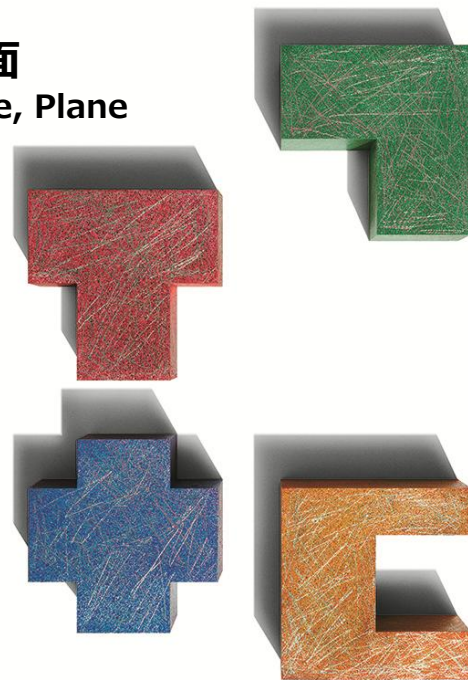
2015年2月24日（火）～4月19日（日）

空間を生かした  
ダイナミックなデザインのアート・ジュエリー

日本のアート・ジュエリーは、一面では彫金の作家たちがその技術を装身具に広げてスタートした経緯があります。中村ミナト氏は彫刻作品にも通じるデザインでその流れに、新しい局面を開きました。

手のひらにのる小さなジュエリーと  
身の丈をこえる大きな彫刻

両者はどのように関連しあい発展してきたのか、展覧会で探ります。



### プレス内覧会 2015年2月23日(月)

記者受付 13:30～  
記者内見会 13:30～15:00 (撮影可能)  
記者発表会 14:15～14:55

「内覧会ご出席」および「当日撮影をご希望」の場合は下記フォームにご記入の上、  
FAX: 03-3211-7783 (工芸課) 広報行へ事前のご連絡をお願いいたします。

#### <ご出席>

芳名: \_\_\_\_\_ 参加予定人数 \_\_\_\_\_

貴社/媒体名: \_\_\_\_\_

撮影をご予定の方は、以下欄にもご記入をお願いいたします。

掲載予定の詳細: \_\_\_\_\_

機材・車両等 ( \_\_\_\_\_ )

報道関係の方の  
お問合せ先

東京国立近代美術館工芸館

展覧会担当/北村・諸山 広報担当/高橋

Tel: 03-3211-7781 (代表) E-mail: cg-pr@momat.go.jp

掲載用  
お問合せ先

Tel: 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 公式HP: www.momat.go.jp/

## 展覧会について

肩を覆う鎧のような「ネックオーナメント」や、大きく膨らんで指からこぼれ落ちそうな「リング」など、独特のフォルムをもつ中村ミナトのジュエリー。その外見とは裏腹に、身につけるとしっくりと馴染み、着けやすいものばかりです。いずれも「装着時にできる空間そのものが作品」という中村の思想が浸透しています。

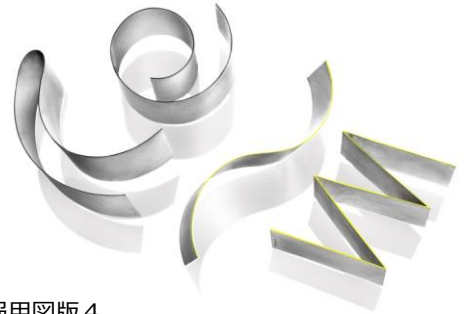
線や面、球体などで構成される明快なかたちは、中村が平行して進めている彫刻制作と密接に結びついています。大学で彫刻を学んだ後、小さな抽象彫刻を作ろうとしたことをきっかけに、中村はジュエリー制作に携わるようになりました。彫刻にも共通する幾何学的な作品は、ジュエリーの素材や表現が多様化する潮流のなかで、次世代の表現を拓くものとして注目されました。個展やグループ展をとおして、現在も旺盛な制作活動を展開しています。

身の丈をこえるほどの大きな彫刻は、房総半島にあるアトリエで、ジュエリーは、東京都心の工房で制作しています。これまで中村は、彫刻とジュエリーをはっきりと区別し、個展発表も別々に行ってきました。しかし近年、両者が近づいてきたように感じるといいます。中村の制作において、ジュエリーと彫刻はどのような関係にあるのでしょうか。本展では、ジュエリーを中心に代表作でこれまでの活動を紹介するとともに、両者の往還のなかに立ち現れる中村ミナトの制作の現在を取り上げます。

広報用図版 2



広報用図版 3



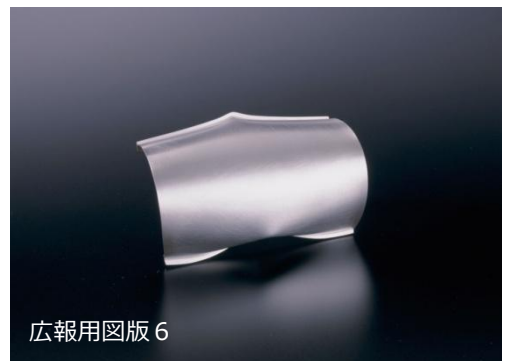
広報用図版 4

## 作家略歴

- 1947年 東京都生まれ
- 1969年 武蔵野美術大学 彫刻科卒業
- 1970年 同大学専攻科卒業後、スタジオ・ド・オロにて菱田安彦氏にジュエリーを師事
- 1984年 「今日のジュエリー：世界の動向」  
京都国立近代美術館、東京国立近代美術館工芸館
- 1985年 「第19回国際ジュエリー展」銀賞（チョーカー 3点）
- 1993年 「湘南ひらつか野外彫刻展」大賞
- 1995年 「Contemporary Japanese Jewelry」  
アントワープ市立装飾美術館（ベルギー）
- 1995年 「コンテンポラリー・ジュエリー：日本の作家30人による」  
東京国立近代美術館工芸館
- 2006年 「ジュエリーの今：変貌のオブジェ」  
東京国立近代美術館工芸館
- 2008年 個展（彫刻）  
かわさきIBM市民文化ギャラリー（神奈川）



広報用図版 5



広報用図版 6

## 展覧会概要

展覧会名	(和) 中村ミナトのジュエリー：四角・球・線・面 (英) NAKAMURA Minato's Jewelry: Square, Globe, Line, Plane
会期	2015年2月24日(火)～4月19日(日)
開館時間	午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日	月曜日(3月23日、30日、4月6日は開館)
主催	東京国立近代美術館
会場	東京国立近代美術館工芸館 Crafts Gallery, The National Museum of Modern Art, Tokyo
アクセス	東京メトロ東西線「竹橋駅」 1b出口 徒歩8分 東京メトロ東西線・半蔵門線 / 都営地下鉄新宿線「九段下駅」 2番出口 徒歩12分 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園1-1
観覧料	一般210円(100円) 大学生70円(40円) 高校生以下 および18歳未満、65歳以上、MOMATパスポートをお持ちの方、 キャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方とその付添者(1名)は無料。 *( )内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込。 *割引・無料には、入館の際、学生証・運転免許証等の年齢のわかるもの、 障害者手帳等をご提示ください。 無料観覧日：3月1日(日)、4月5日(日)
イベント	◇アーティストトーク：3月8日(日) 中村ミナト ◇ギャラリートーク：4月12日(日) 当館研究員 ◇タッチ&トーク 会期中毎週水曜・土曜 工芸館ガイドスタッフによる鑑賞プログラム 展覧会に関連した作品に触れながら鑑賞する「くさわってみようコーナー」と 作品のみどころなどをご紹介する会場トークの2部構成。 *各日とも午後2時から会場にて *申込不要・参加無料(要観覧券)
同時開催	所蔵作品展「近代工芸の名品」 会場の一部では、当館所蔵作品の中から重要無形文化財保持者(人間国宝)などの 作品を展示し、陶磁や漆工、染織、金工等、さまざまな工芸の魅力をご紹介します。
掲載用 お問い合わせ先	Tel：03-5777-8600 (ハローダイヤル) 公式HP：www.momat.go.jp /

FAX : 03-3211-7783 (工芸課) 広報担当 行 発信日 年 月 日

<p>1(ポスター)</p> 	<p>1-A (チラシ)</p> 	<p>1-B (チラシ)</p> 	<p>2</p> 	<p>3</p> 
<p>《Va=Vb=Vc=Vd》 2011年 個人蔵 グラフィックデザイン：安藤基広 (サン・アド) 撮影：上原勇 (サン・アド)</p>			<p>《ネックオーナメント「blue」》 1990年 個人蔵 撮影：西山史詞</p>	<p>《ブローチ「inside out」》 2004年 個人蔵 撮影：西山史詞</p>
<p>4</p> 	<p>5</p> 	<p>6</p> 		
<p>《ブローチ「黄色ときどき黒」》 2013年 個人蔵 撮影：ジュエリーフォト</p>	<p>《ブローチ「color belts」》 2007年 個人蔵 撮影：ジュエリーフォト</p>	<p>《ブローチ「925」》 1999年 個人蔵 撮影：西山史詞</p>		

- ・ご希望の図版の左下枠内に✓を入れてFAXでお送りください。
- ・作品図版はJPEGデータをご用意しています。
- ・展覧会広報のみにご使用ください。著作権保護のため、他の目的でのご使用は固くお断りいたします。
- ・掲載見本を広報担当者へご寄贈ください。(Webサイトの場合は掲載時にお知らせ下さい)

ご担当者名： \_\_\_\_\_ E-mail: \_\_\_\_\_

貴社名： \_\_\_\_\_

出版物・放送番組・ウェブサイト名： \_\_\_\_\_

URL (http://www \_\_\_\_\_ )

掲載予定号・発行日/放送・公開日時等： \_\_\_\_\_

電話番号： ( \_\_\_\_\_ ) Fax: ( \_\_\_\_\_ )

\* 展覧会をご紹介いただける場合は、読者プレゼント用招待券をご用意いたします。

希望しない/希望する ( \_\_\_\_\_ 組 \_\_\_\_\_ 枚)

チケット送付先： 〒 \_\_\_\_\_